

鹿児島県信用保証協会 デジタル化推進方針

令和7年4月



一步を踏み出す力になりたい

鹿児島県信用保証協会

1. 基本方針

デジタル技術の進展により社会全体がデジタル化を進めており、令和3年5月に国は「デジタル社会の形成に関する基本理念や基本方針を定めたデジタル社会形成基本法」を定め、デジタル社会の形成が様々な課題を解決する上で極めて重要であるとしてきました。

当協会では、デジタル技術を協会業務全般に活用し課題解決する必要があると考え、全職員からデジタル化により実現したいことを聴取し、システム関係企業からの提案等を踏まえた対応案について、全職員への聴取を含めた協議を深めてきました。

今般、これらの対応策について成案を得たことから、「事務効率化」、「データの利活用」、「デジタル人材の育成・強化」の強化に取り込むこととした「デジタル化推進方針」を策定しました。

これら取組事項のうち、当協会が利用する保証協会システムセンター株式会社が運用する共同システム(以下、「共同システム」という。)の各種規約の順守や、共同システムの開発計画と整合した実施が必要なものもありますが、実現に向けてスピード感を持ってデジタル化を推進していきます。

デジタル化推進の背景

デジタル技術の進展・デジタル社会の形成による課題解決重要性の高まり

信用保証業務のデジタル化

当協会のデジタル化推進方針

事務効率化

データの利活用

デジタル人材の育成・強化

2. 取組内容

1 事務効率化		
	1 外出先でのデータ閲覧	外出先での業務に資するデータの利活用について、共同システムの改修計画に連動した検討を継続して進める。
	2 会議準備の省力化	業務回線の無線LANを整備し、会議資料の電子化と可搬型PCを利活用することにより、会議準備の省力化とペーパーレス会議を進める。
	3 ペーパーレス化と回議・保管の効率化	各種稟議書や報告書の回議・保管を、ワークフロー(電子決裁)システムによる紙文書から電子文書での回議へ変更し、併せて電子文書管理システムへの自動保管を進める。
	4 電話の取次ぎ手間の削減	外部から担当者への電話着信について、電話取次ぎによる業務中断時間や待ち時間削減を図る取組を進める。
	5 Fax及び電子メール送受信の効率化	保証申込電子化システムの利用増によりFaxの利用減が見込まれる一方で、電子メールの利用は増加が見込まれ、電子メール送受信の効率化を図るため、共有メールアドレスを使ったメール管理システムを試行する。
	6 定型業務の自動化による省力化・効率化	手作業で行っている定型業務を、RPAにより自動化することにより、省力化・効率化を進める。
	7 議事録や交渉記録作成の一部機械化	会議の議事録作成や交渉記録の作成を、文字起こしシステムを導入し、一部自動化による効率化を進める。
2 データの利活用		
	1 外出先でのデータ閲覧	共同システムによる外出先でのデータ閲覧の環境整備に連動し、創業フォローアップや現地督促等の外出時におけるデータ利活用を進める。
	2 知見のデータ蓄積による業務効率化	電話照会簿や過去事例等の知見をデータ蓄積し、これら蓄積されたデータをAI機能により分析・回答を得る仕組みを調査研究し、業務効率化を図る。
	3 職員自身でCOMMONデータを利活用できる環境整備	統計データや業務データの抽出・加工が平易なツールを調査研究し、職員自身でCOMMONデータを利活用できる環境を整備する。
3 デジタル人材の育成・強化		
	1 デジタルスキル向上	職員全般を対象としたITに関する外部研修会や講演会への参加機会を通じ、デジタルスキル向上を図る。
	2 デジタル人材の育成	電算業務のOJTや保証協会システムセンターへの出向を計画的に行い、デジタル人材の育成を図る。